

K L a b株式会社

2011年8月25日

市場	東証 (Mothers)	業績 (百万円)	2009/8	2010/8	2011/5 (3Q)
上場承認日	2011/8/23	売上高	2,365	2,953	3,385
上場予定日	2011/9/27	営業利益	78	150	366
主幹事証券	大和証券 CM	経常利益	53	131	363
監査法人	優成監査法人	当期利益	93	209	198
URL	http://www.klab.jp/	総資産	1,347	1,506	2,020
証券コード	3656	純資産	544	753	954

● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は2010/8期)

- ・同社は、2000/1に㈱サイバードの研究・開発部門として発足し、同年8月に法人が設立されている。その後2004/11に現在の商号へ変更するとともに㈱サイバードが持株を㈱USENへ譲渡、2007/2にはさらにSBIホールディングス㈱に譲渡されている。なお、現在のSBIホールディングス㈱の持株(ファンド含め)は49.8%、残りは主に役員と他のVCが保有しており(後述)、SBIグループ主導の元で、IPOをExitとした資本政策を実施してきたように見受けられる。
- ・現在は、①ソーシャル事業、②SI事業、③クラウド&ライセンス事業の3種類を行っている
- ・①では、ゲームなどのソーシャルアプリをSNSユーザーに提供している。同社では「マルチプラットフォーム及びマルチデバイス」の方針の元、複数のSNSプラットフォームや複数のデバイス(スマホ)への対応をしており、特定のプラットフォームやデバイスへの依存リスクを回避しようとしている。ゲームのラインナップは複数あるが、現状のメインは育成型シミュレーションゲーム「恋してキャバ嬢」、サッカーゲーム「キャプテン翼」など。
- ・②は、コンシューマ向けコンテンツ提供を行う顧客に対し、大規模システムのインテグレーションを行う事業であり、主に音楽業界、電子出版業界、アミューズメント業界や在京キー局等へサービス展開している。
- ・③は、大規模・高負荷対応インフラである「DSAS」サービスの提供等を行っている。特に、ソーシャルアプリ専用カスタマイズされていることが特色である。
- ・売上構成は、①8.0億円、②13.6億円、③7.4億円となっているが、2011/5(3Q)では、①18.4億円、②8.9億円、③6.4億円と、①が大幅に増加している。なかでも㈱ディー・エヌ・エー(10.0億円:売上全体の29.6%)、グリー㈱(5.7億円:同17.1%)両社への売上が大きく増加しており、SNS企業の成長と共に業績を拡大している。

● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は2010/8期)

- ・総資産は15.0億円。現預金4.2億円、売掛金5.9億円、繰延税金資産1.4億円、敷金2.0億円など。売掛金は、NTTグループ企業やグリー㈱、㈱ディー・エヌ・エー等のSNS大手企業などである。なお、①の急拡大に伴い2011/5の売掛金は8.5億円まで急増している。
- ・負債は7.5億円。営業債務2.4億円、有利子負債3.2億円など。こちらも、2011/5には有利子負債(4.3億円)の増加などにより10.6億円まで増加している。なお、純資産は7.5億円だが、直前期である2010/8期の利益剰余金はマイナス残である。
- ・収益性では、2011/5(3Q)の営業利益率が10.8%と、過去(3.3%(2009/8)、5.1%(2010/8))と比較して大幅に上昇している。一見、①の売上が増大したためと見受けられるが、セグメント情報で開示されている粗利率は、①32.6%、②45.4%、③46.5%と①が一番低い水準であるため、事業構造の変化というよりは、売上の増大の割に販管費の伸びが少なかったためと見受けられる。なお、販管費のうち主要なものは、人件費(4.1億円)、広告宣伝費(1.7億円)、研究開発費(0.7億円)など。
- ・営業外費用に支払補償費という項目があり、年0.1~0.2億円程度が発生しているが、詳細は不明。また、収益性の向上により繰延税金資産の引当戻しが1.4億円ほど生じているため、当期利益の押し上げ要因となっている。2012/8期以降はこの影響がほぼ無くなるため、留意が必要。

● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・調達予定額は3.4億円(OA込では5.3億円)。資金使途は、①の人件費・採用費に4.0億円、サーバ等増強費用0.3億円、オフィス増強1.0億円で、いずれも2012/8期に使用予定。
- ・役員構成は、取締役8名(うち社外1名)、監査役3名(うち社外3名)。代表取締役は、㈱サイバードの設立メンバー。
- ・資本構成ではVCの割合が多く、議決権比率で65.8%を保有されている。今回売出は行われるものの、それでもIPO後で59.8%を保有される見込。VC比率が高いことによる需給バランスの悪化リスクについて、リスク情報に記載されている。
- ・役員陣の持株比率は議決権の20.7%(代取16.1%、取4.6%)。大量の新株予約権を保有してはいるものの、それを考慮しても、募集・売出後で25.7%程度の見込。なお、従業員向けを含め、新株予約権が発行済株式の15.2%発行されており、その旨がリスク情報に記載されている。

© ㈱アカウンティング・アシスト(無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Iの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実誤認等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。